

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ザ・イエローハウス		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに対して1対1で職員を配置し、担当制を設けていることで継続的に担当児を見ることができること。	クラス前後に打ち合わせや振り返りの時間をもち、それぞれ専門性を活かしながら密に情報連携を行うことで、よりよい支援につながるよう意識している。	・引き続き職員同士のコミュニケーションを大切にしてい く。 ・専門性の質を保つことができるように、職員の研修受講や 学会への参加などをしやすい環境作りを心がけていく。
2	・専門職が多数在籍し、子どもやグループに合わせて活動を決定していること。 ・どのグループも同じ活動をするのではなく、そのグループや子どもの好きなことに合わせて活動内容を決定していること。	・職員配置数を十分に確保しているため、支援中に別室での相談に応じることができる環境を整えている。 ・多言語対応しているため、海外にルーツを持つ家族の支にも力を入れている。 ・学校での支援や、放課後等デイサービスの情報についての説明会を開催している。 ・積極的に行政と連携をとることで、ニーズに合った情報をお伝えすることができるようにしている。	・AIなどを積極的に使い、海外にルーツを持つご家庭毎に合わせた対応を考えていく。 ・引き続き職員体制を整え、支援中の相談に応じることができるようになる。
3	専門的な知識を持った職員が、保護者からの相談に応じたり、しかるべき関係機関を紹介することができること。	・職員配置数を十分に確保しているため、支援中に別室での相談に応じることができる環境を整えている。 ・多言語対応しているため、海外にルーツを持つ家族の支にも力を入れている。 ・学校での支援や、放課後等デイサービスの情報についての説明会を開催している。 ・積極的に行政と連携をとることで、ニーズに合った情報をお伝えすることができるようにしている。	・AIなどを積極的に使い、海外にルーツを持つご家庭毎に合わせた対応を考えていく。 ・引き続き職員体制を整え、支援中の相談に応じることができるようになる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ご要望ほどの保護者同士の懇談会の開催ができていないこと。	・個別支援計画のお渡しや個別相談等、相談室が埋まってしまっていることも多く、また児童発達管理責任者や管理者のスケジュールと鑑みての開催となってしまっているため。	・保護者同士の交流の機会を確保するため、今後は年間計画の中に懇談会の実施時期をあらかじめ位置づけるなど、計画的に開催できるよう検討していく。
2	・地域の中で他の子どもと活動する機会がないこと。	・週に1回1時間という支援の特性上、保育園や幼稚園との交流が難しい。 ・利用者のプライバシーへの配慮のため、利用者を含めた地域との交流は慎重におこなうようにしている。	・インクルーシブ推進のための交流機会の保証であると考えているため、在籍園との情報共有や、在籍園への訪問における助言などを通して、インクルーシブな社会を目指している。
3	・食事場面の支援ができないこと	・週に1回1時間という支援の特性上、食事やおやつを提供がない。	・保護者への詳細な聞き取りを通して助言していくとともに、必要に応じて医療機関や専門職への評価などにつなげていく。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名 **ザ・イエローハウス**

公表日 **2026年 3月 15日**

利用児童数 **60**

回収数 **41**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の人数（3人以下）だとちょうどよいスペースだと思います。</li> <li>・走り回ることができてとてもいい。</li> </ul>	・当事業所は、基準を満たしたスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・一対一で支援を行える職員の配置が、情緒の安定やきめ細かい援助につながっており、適切であると感じています。</li> <li>・子ども一人につき先生一人がついてくれるのでとても安心です。</li> <li>・私たちにとっては十分です。職員の方が少し大変そうかなと思うことはあります。</li> <li>・ひとりにひとり先生がついてくれるので安心です。</li> </ul>	・当事業所は、基準を超える人員配置と専門職を配置することで、各種加算を算定しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが子に関しては特に問題点なく、絵による活動リストなどの配慮もありが良かったです。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・月ごとや季節ごとの絵本の紹介があるといいなと思いました。置いてある絵本の入れ替えがもう少しあると嬉しいです。</li> <li>・いつもきれいなお部屋で活動させていただきました。</li> </ul>	・絵本の入れ替え頻度を増やしていきたいと思います。 ・朝やケース後には掃除の時間を設け、清潔な環境であることを心がけています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの尊厳を尊重し、子どもの特性に応じた専門性のある、温かい支援が受けられていると感じています。</li> <li>・一年間同じ先生ということがわが子にもあったようで、安心して楽しく活動できました。</li> <li>・こどもの好きなことを共有してできることが増えている。</li> <li>・子どものことを理解していただいていると思いますが、専門性のある支援というのがよくわかりません。</li> <li>・できないことを無理強いせずに対応してくださっています。</li> </ul>	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40			1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な面談していただき、作成してくださっていると思います。</li> </ul>	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	40			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各環境に分けて支援内容を設定してもらえたのでわかりやすかったです。</li> </ul>	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内でできることについては十分に考えられて実施されていますが、全身運動など、スペースの制約を受けているものについては、現状できることが限られているのかなと思いました。</li> <li>・活動の中でわが子の未熟な部分には丁寧に対応してもらっていると思います。</li> </ul>	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの内容は毎回工夫されており、計画的な支援が受けられていると感じています。</li> <li>・固定でもなく頻繁でもなく、ちょうど良いスパイクで活動を変えてくれていると思います。</li> <li>・時間通りに始まったことがなく、モヤモヤしました。（他の子がそろっていないので仕方ないのですが）</li> </ul>	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	4	20	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらでもないにつけましたが、地域のこどもの活動は希望していないのでなくてよいです。</li> <li>・他施設との交流ではありませんが、一緒に活動しているお友だちは違う園の子です。</li> <li>・まだそのような機会がない。</li> <li>・療育を通して他の園と交流したことはない。</li> </ul>	・当事業所の活動上、そのような機会はありませんが、お子さんが在籍している園がそのような機会となっていることがあります。在籍園がないお子さんに関しては、ご希望によって様々な交流の場を情報提供しています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な説明もあり、質問に対して丁寧に対応してもらいました。</li> </ul>		
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41						
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の活動報告の中でわが子の特徴や関わり方についてアドバイスいただきました。</li> <li>・もう少し回数が多いと嬉しいです。</li> </ul>	・職員が増える育児に関するイベントのお知らせを掲載し、数名の保護者に参加いただきました。	
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・都度共有できるので安心感があります。</li> <li>・前回気になった点を気に留めながら、次回の活動に活かしてもらっていると思います。</li> <li>・すぐよく子どものことを見てくださり、些細な変化にも気づいてくださる。</li> <li>・毎回変わりがないか聞いて下るので、共有できていると思います。</li> </ul>		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、支援プログラムを保護者が同席でき、活動後に職員と対話ができることで、当日のプログラムでの様子を振り返ったり、成長の姿を共有したり、子育てに関する相談に共感、助言等の支援を受けたりすることができ、保護者支援につながっていると感じています。</li> <li>・面談や普段の活動報告の中で、助言をいただくこともあります。</li> <li>・毎回、丁寧にフィードバックがあるのでありがたいです。相談もしやすいので助かります。</li> <li>・よく相談に乗って下さり、寄り添ってくれてアドバイスもくれる。</li> </ul>			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの相談をするときは、いつも共感しながらお話ししてくれています。</li> <li>・みなさんすごく優しく子どもにも保護者にもいつも寄り添ってくれる。</li> </ul>			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	7	7	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数か月前、保護者の方に関してみたいことがあるので保護者会希望の旨を伝えましたが案内がないままで残念。</li> <li>・特に他の親御さんと交流したいとは思っていない。</li> <li>・保護者会を開催していただき、保護者間でもコミュニケーションを取りやすくなったと思います。</li> <li>・保護者同士はあり、きょうだい同士はなし。</li> <li>・親同士が交流する機会を増やしてほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士で懇談できる場や、就学・放課後の過ごし方についてなどを一緒に考える機会を提供しています。</li> <li>・きょうだい同士の交流の機会はありませんが、きょうだいに関する相談をお受けし、適宜情報提供や適切な支援へ繋いでいます。</li> </ul>
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な機関を教えていただき、医療などに繋がって本当に感謝しています。</li> <li>・上の子の同伴も快く許可、丁寧に説明もいただきました。また上の子に対しても適宜対応していただきありがとうございます。</li> <li>・一緒に今後の園探しの相談に乗ってくれたり、色々調べて情報共有してくれました。</li> </ul>	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから親が見えて言葉交わす環境で活動させてもらっていると思います。</li> </ul>	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	2	1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙による報告書で発信してもらっています。</li> <li>・お便りの発信がある。自己評価は見たことがない。</li> <li>・自己評価はHPで発信されているのを知っています。SNSは見ないので不明です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『きいろいおうち便り』にて様々な情報を発信しています。</li> <li>・自己評価の結果はホームページに掲載しています。</li> </ul>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談について、個室はありませんが静かになったときに相談内容が聞こえてきたことがあり、自分の時も聞こえているのではと心配になりました。</li> <li>・事前に説明もいただきました。</li> </ul>	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に避難訓練の開催がありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルはファイリングをして下駄箱の上に設置し、いつでもご覧いただけるようにしております。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	40	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者も参加したプログラム中の避難訓練が実施され、近隣小学校への避難系をも明確なため、災害時の備えにも安心感があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全グループで年に2回、災害を想定した避難訓練を実施しています。今後も実施する予定ですので、ご協力よろしくお願いたします。</li> </ul>
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時の子の動き、親の動きが明確なため、配慮が必要な子もパニックになりにくい点で安心しています。</li> <li>・安全の確保はされています。周知については不明。</li> </ul>	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような状況になったことはない。</li> <li>・そのような経験（事故など）がありません。</li> <li>・同室にいるので非該当。</li> </ul>	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所を始めてから、ひとつひとつできることが増え、自己肯定感や成功体験に繋がっています。息子も毎回の通所を楽しみにしており、温かい、第2のおうちのような存在になっています。就学に向けて、これから援助を受けたいと思っています。</li> <li>・自ら担当および他の先生にも関わりに行けるようになりました。</li> </ul>	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回楽しみにしている。</li> <li>・いつもありがとうございます！</li> <li>・前日から楽しみにしています！</li> <li>・いつも楽しみにしています。先生方のおかげです。</li> <li>・一番楽しみにしている。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> <li>・週1ですが、行くよ！と声を変えると元氣よく返事してくれるので楽しそうです。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	41				<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策もあると思いますが、出来ればマスクを外していたさ口の動きや表情が子供に伝わりやすくなると思います。子どもだけではなく保護者にも寄り添っていただき、一緒に悩み考えていただけてすごくありがたいです。</li> <li>・ありがたい限りです。母子ともに安心して通わせていただいています。</li> <li>・幼稚園の集団行動とはまた違う側面をこちらで伸ばして貰っています。ありがとうございます。</li> <li>・とても満足です。3月までしか通えないのですが、困ったときは相談に乗ってほしいです。</li> <li>・すごく満足しています。なによりこちらに通わせることができて本当に良かったです。</li> <li>・いつもありがとうございます。残り数か月もよろしくお願いたします。卒業が楽しみです。</li> <li>・いつも本当にありがとうございます。子が通所を楽しんでいるだけでなく、親にとってもいつでも相談できる場までいけることが本当にありがたく、心強く思っています。先生方も日々大変でしように、いつも優しくしてくれてありがとうございます。もし、もしもこの先小学校に入ってからの子のクラスなども設けられたら（1時間でも！）絶対に利用したいなと思います。</li> <li>・難しいとは思いますが、ぜひ長時間のクラスもあれば良いな！と思います。放デイも開所していただきたいです！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27～29の質問に、「○」や「はなま」をたくさんいただきました。特に職員へのメッセージをくださった方もいらっしゃいました。ありがとうございます。当事業所では、「お子さんの「楽しい」という気持ちを大切にしています。今後も、お子さんが自分のままで楽しめる場所を提供できるよう、職員一同努力してまいります。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ザ・イエローハウス		公表日		2026年 3月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14		・適宜応援者が来る（状況に応じて）のでありがたい。 ・限られた職員で考え抜いて配置されていると思う。スペースの兼ね合いもあり増員も難しい面がある。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	・不要なものがなくすっきりしている。 ・入室から準備までを視覚化している。 ・制約も多く難しい面があると思うが、必要が生じた場合に対応するのだと思う。 ・靴を脱ぐ場所、水筒を入れる場所等、イラストを用いてわかりやすく示している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14		・部屋数が少ないので、相談室かトイレがクールダウンスペースになることがある。 ・十分とは言えないが、努力はされていると思う。職員と共有になるので厳しいところはある。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14		・支援計画会議には関わる職員が参加し、意見を出し合っている。 ・支援にかかわった職員全員が意見を言える雰囲気があり、意見を出し合いながら改善に努めている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		・年2回のヒヤリングをはじめ、日ごろからよく話し合えていると思う。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	8	・第三者評価は行っていない	・現在第三者評価は行っていないが、定期的にコンサルタントに運営について助言をもらい、業務改善に繋げている。		
適切	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	・年1回学会参加にあたり、有休をもらっている。 ・非常勤なので、その時間を確保するのはかなり難しい。自主的に別の機会を作っている。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		・適切と考えて作成しているが、それが適切なかの判断は難しく常に迷いの中である。 ・支援の目的、手立てをサービス提供記録に記入し、保護者に支援の意図を説明している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		・一人ひとり会議が行われている ・支援計画会議にて複数の職員で検討して作成している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1	・必要に応じてK式発達検査をしている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14					

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回回のプログラムをチームで話し合っていて決めている。</li> <li>・ここがこの事業所のこだわりであり、苦勞する部分でもあると思う。</li> <li>・毎回の振り返りの後に、次の活動をどうするか話し合っている。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定化するメリットもあると思う</li> <li>・子どもの様子にあわせてプログラムを変えている</li> <li>・子どもの状態に合わせて工夫している。</li> <li>・他の曜日での活動を共有し、参考にすることで幅広い内容の活動を行えるようにしている。</li> </ul>	・同じ活動を繰り返すことが有効なお子さんもいるため、その場合は、活動を繰り返す目的を保護者様に丁寧に説明していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14		・個別の場面で課題がある、集団場面で課題があるなど、アセスメントをしたうえで子どもにあわせて支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで連携してグループ全員に目が行き届くよう活動内容の流れを確認している。</li> <li>・とても丁寧に行っていると思う。</li> <li>・毎回行っている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管も一緒に振り返りを行い、情報の共有を心掛けている。</li> <li>・とても丁寧に行っていると思う。</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14		・児発管と話し合っていて進めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援にて、情報共有及び相互理解を図っている。（対象児）</li> <li>・就学までの子どもの様子をまとめ、アセスメントし、学校における配慮事項を最後のモニタリングに記入しておくことで、教員等が参考にできるようにしている。</li> </ul>	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	4	・OTさんの助言を聞きたい	・過去実施した、足立区の制度を利用してOT派遣を依頼する機会を設けたいと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	14		・事業所の特性上、そのような機会を設けていないが、各自の所属園がそのような機会となっている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方とお話しする時間も大事に確保している。</li> <li>・保護者と一対一で話し合う時間を設け、情報共有や助言を行っている。</li> </ul>	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	2		・家族支援Ⅱの範囲内で、グループの保護者同士の懇談や、テーマにあわせてペアレントトレーニングの機会を提供している。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		・職員同士で連携して進めている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	1	・同じグループの保護者共有の機会を設けている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		・事業所以外で利用者情報を口にしない等気を付けている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	13	・実際のところ難しいと感じる ・管理者が講演会をしている	・事業所の特性や、利用者の個人情報等の問題があり、そのような機会は設けていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14		・調査票に記入して確認している。また、場合によっては服薬などについて保護者と情報共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	2	・昼食やおやつを提供を行っていない ・入所前に調査票に記入いただき、小麦粉アレルギーの場合小麦粉粘土を別案にするなどして対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14				